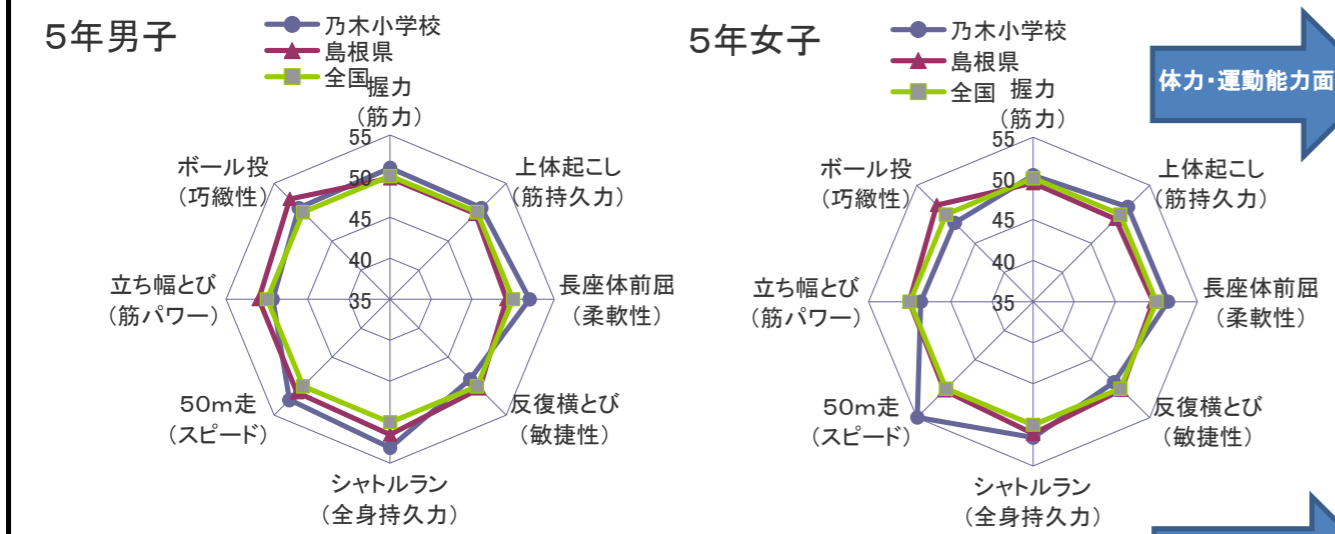
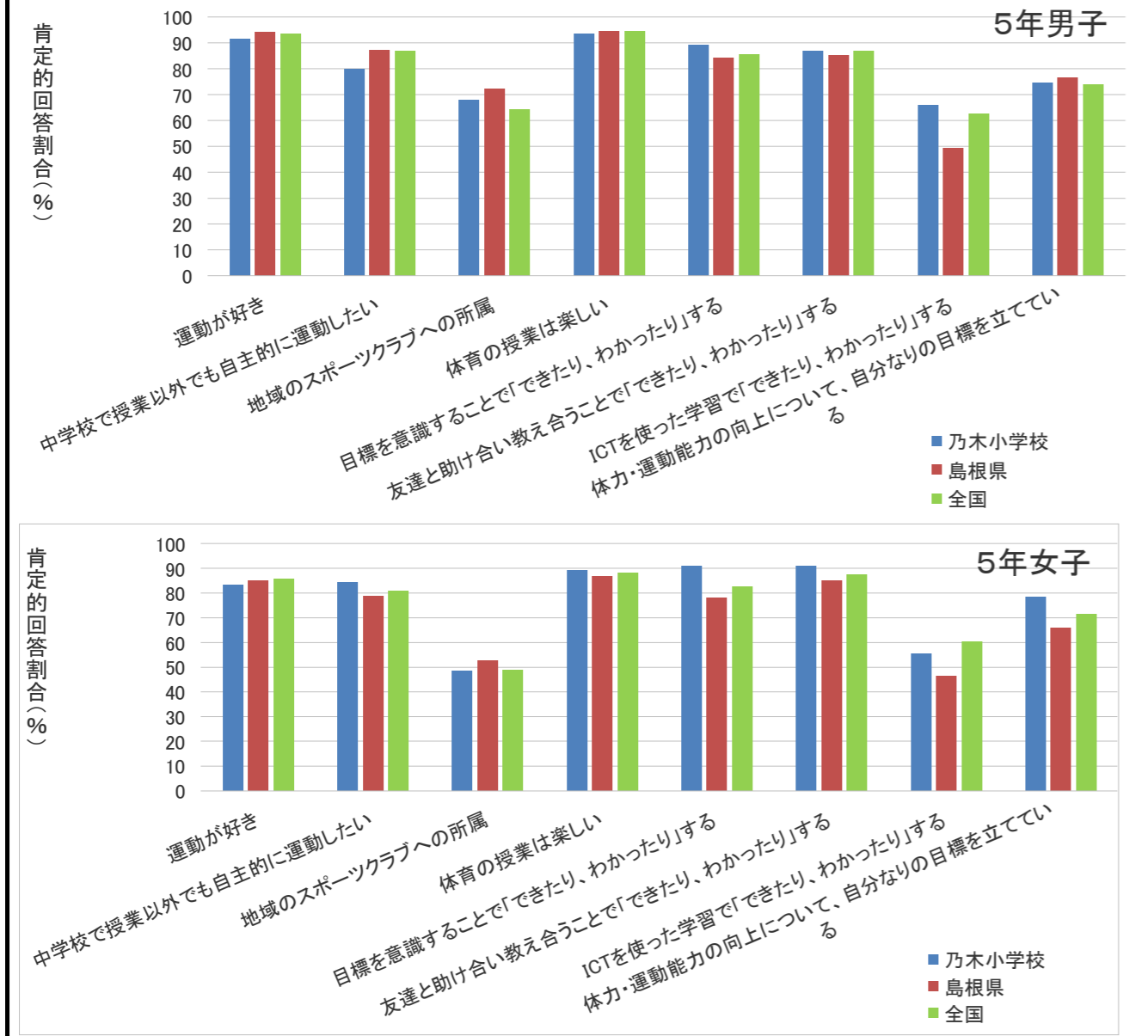


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力 (筋力)	上体起こし (筋持久力)	長座体前屈 (柔軟性)	反復横とび (敏捷性)	シャトルラン (全身持久力)	50m走 (スピード)	立ち幅とび (筋パワー)	ボール投 (巧緻性)
男子	1.0	0.7	2.0	-1.2	3.1	2.4	-0.7	0.7
女子	0.4	1.3	1.4	-1.1	1.6	4.9	-1.3	-1.5

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	地域のスポーツクラブへの所属	体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている
男子	-1.9	-6.9	3.7	-1.0	3.8	0.2	3.4	0.6
女子	-2.7	3.5	-0.4	1.1	8.2	3.3	-4.8	7.1

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

(1) 年間を通した取組

- ・各学期に主となる体育的活動を位置づける。
【1学期:体力テスト、運動会 2学期:RUNRUN月間 3学期:なわとび】
- ・児童委員会と連携した運動遊びの機会を増やしていく。
- ・姿勢体操のねらいを児童とも共有しながら、正しい動きで継続して取り組んでいく。

(2) 授業の工夫・改善

- ・授業についての情報交換の機会を設け、場づくりや指導法などについて共有できるようにしていく。
- ・体育関係の研究会への積極的な参加を呼びかけ、その実践を校内の職員に広めていく。

(3) 環境づくり

- ・運動ができる場(スペース)の活用の仕方を考え、進んで運動に取り組める環境を整えていく。